

安全データシート

作成日 1994年07月01日

改訂日 2014年05月01日

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名 :ジクロル無水マレイン酸  
 整理番号 :HS207  
 会社名 :北海道曹達株式会社  
 住所 :北海道登別市千歳町2丁目12番地  
 電話番号 :0143-85-2411  
 FAX番号 :0143-85-2507

## 2. 危険有害性の要約

人の健康に対する有害性

:皮膚、眼、粘膜を強く刺激し、炎症や薬傷を起こす。吸入した場合は喉頭の粘膜の炎症と痛み、咳、吐き気。

皮膚に触れた場合は皮膚の炎症と痛み、紅斑や水疱の生成。眼に入った場合は眼の炎症と痛み。飲み込んだ場合は吐き気、嘔吐、呼吸困難等。

:データなし。

環境への影響

物理的及び化学的危険性

特有の危険有害性

:特になし

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体

:分類対象外

自然発火性液体

:分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)

:区分4

急性毒性(経皮)

:分類できない

急性毒性(吸引・ガス)

:分類できない

急性毒性(吸引・ミスト)

:分類対象外

皮膚腐食性・刺激性

:区分1C

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

:区分1

呼吸器感作性と皮膚感作性

:分類できない

生殖細胞変異原性

:分類できない

生殖毒性

:分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回曝露)

:分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復曝露)

:分類できない

吸引呼吸器有害性

:分類できない

環境に対する有害性

:分類できない

水生環境急性有害性

:分類できない

水生環境慢性有害性

:分類できない

絵表示またはシンボル



|         |  |
|---------|--|
| 注意喚起語   | : 危険   |
| 危険有害性情報 | : 飲み込むと有害(経口)。<br>重篤な皮膚の薬傷。<br>重篤な眼の損傷。<br>遺伝子疾患のおそれの疑い。<br>全身毒性の障害のおそれ。<br>呼吸器への刺激のおそれ。<br>水生生物に毒性。<br>長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。  |
| 注意書き    |  |
| 予防策     | : 使用前に本紙の安全注意事項を読み取り扱う事。<br>指定された個人用保護具(眼鏡、手袋、保護面、保護衣、長靴等)を着用する。<br>粉じん、ヒュームを吸入しないこと。<br>必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用すること。<br>取り扱った後、手、顔などをよく洗うこと。<br>この製品を使用する時には、飲食または喫煙をしないこと。<br>環境への放出を避けること。 |
| 対応      | : 飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに口をすすぐこと。<br>皮膚に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水道水で洗うこと。<br>吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。<br>眼に入った場合は、水で15分以上洗うこと。<br>皮膚に付着、眼に入った、飲み込んだ、吸入した場合は、直ちに医師の診断を受けること。  |
| 保管      | : 施錠して、耐食性のある材料の容器で保管すること。   |
| 廃棄      | : 内容物又は容器を廃棄する場合には、都道府県の規則に従うこと。   |

### 3. 組成及び成分情報

|             |                        |
|-------------|------------------------|
| 単一製品・混合物の区分 | : 単一製品                 |
| 化学名又は一般名    | : ジクロル無水マレイン酸          |
| 別名          | : DCMA                 |
| 化学式(化学特性)   | : $(ClCCO)_2O$         |
| 含有量         | : $(ClCCO)_2O$ (97%以上) |
| 化審法番号       | : 2-2655               |
| 安衛法番号       | : 番号なし、既存化学物質扱         |
| CAS番号       | : 1122-17-4            |

### 4. 応急措置

|           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| 吸入した場合    | : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。    |
| 皮膚に付着した場合 | : 直ちに水で洗い流した後、石鹼を使ってよく洗い流す。 |
| 目に入った場合   | : 直ちに水道水で15分以上洗眼する。         |
| 飲み込んだ場合   | : 気分が悪い場合には、直ちに医師の診断を受ける。   |

### 5. 火災時の措置

|          |         |
|----------|---------|
| 消火剤      | : 特になし。 |
| 特有の危険有害性 | : 特になし。 |
| 特有の消火方法  | : 特になし。 |

## 6. 漏出時の措置

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、<br>保護具及び緊急措置 | :漏洩した場所の周囲にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。<br>作業の際には、必ず保護具を着用する。 |
| 環境に対する注意事項               | :環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。                              |
| 回収、中和                    | :特になし。   |
| 二次災害の防止                  | :床面などにこぼれた場合は、ただちに拭き取り、乾燥した蓋付き容器に収納する。                   |

## 7. 取扱い及び保管上の注意

|           |   |
|-----------|---|
| 取扱い       |   |
| 技術的対策     | :保護具を着用し取り扱う。   |
| 局所排気・全体換気 | :適切な換気装置。   |
| 注意事項      | :吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないよう注意し、適切な保護具を着用して出来るだけ風上から作業するようにする。   |
| 安全取扱注意事項  | :使用前に使用説明書入手すること。<br>すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。<br>接触、吸入又は飲み込まないこと。<br>取扱後はよく手を洗うこと。<br>この製品を使用する時は、飲食又は喫煙をしない。 |
| 保管        |   |
| 保管条件      | :適切な換気のある乾燥した冷暗所に密栓して貯蔵することが望ましい。   |
| 容器包装材料    | :耐蝕性の容器に保存する。   |

## 8. 曝露防止及び保護措置

|            |   |           |            |
|------------|---|-----------|------------|
| 設備対策       | :粉塵が作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置、密閉化、又は全体換気を適正に行うことが望ましい。 |           |            |
| 管理濃度       | :未設定  |           |            |
| 許容濃度       | 日本産業衛生学会  | (2006年度版) | :設定されていない。 |
|            | ACGIH   | (2006年度版) | :設定されていない。 |
| 保護具        |   |           |            |
| 呼吸器の保護具    | :有機ガス用防毒マスク   |           |            |
| 手の保護具      | :ゴム手袋   |           |            |
| 目の保護具      | :ゴーグル型  |           |            |
| 皮膚及び身体の保護具 | :作業衣  |           |            |

## 9. 物理的及び化学的性質

|              |                  |
|--------------|------------------|
| 外観           |                  |
| 物理的状态        | :微黄色固体           |
| 形状           | :固体              |
| 色            | :微黄色             |
| 臭い           | :微性刺激臭           |
| pH           | :データなし           |
| 融点           | :119~120℃        |
| 沸点           | :185~187℃        |
| 引火点          | :データなし           |
| 爆発範囲         | :データなし           |
| 蒸気圧          | :データなし           |
| 比重(相対密度)     | :1.5             |
| 溶解度          | :水、ベンゼン、アルコールに易容 |
| オクタノール/水分配係数 | :データなし           |
| 自然発火温度       | :データなし           |
| 分解温度         | :データなし           |

## 10. 安定性及び反応性

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 安定性       | : 通常の条件では安定性がある。 |
| 反応性       | : データなし          |
| 危険有害反応可能性 |                  |
| 避けるべき条件   | : データなし          |
| 混触危険物     | : データなし          |
| 危険有害な生成物  | : データなし          |

---

## 11. 有害性情報

|                |                                       |
|----------------|---------------------------------------|
| 急性毒性           | : 経口; マウス LD <sub>50</sub> 1,790mg/kg |
|                | : 経皮; データなし                           |
|                | : 吸入(蒸気); データなし                       |
| 皮膚腐食性・刺激性      | : データなし                               |
| 眼に対する重篤な影響・刺激性 | : データなし                               |
| 呼吸器感作性         | : データなし                               |
| 皮膚感作性          | : データなし                               |
| 生殖細胞変異原性       | : データなし                               |
| 発がん性           | : データなし                               |
| 生殖毒性           | : データなし                               |
| 特定標的臓器・全身毒性    |                                       |
| (単回曝露)         | : データなし                               |
| (反復曝露)         | : データなし                               |
| 吸引性呼吸器有害性      | : データなし                               |

---

## 12. 環境影響情報

|         |                    |
|---------|--------------------|
| 生態毒性    |                    |
| 魚毒性     | : 現在のところ確定された情報はない |
| その他     | : データなし            |
| 残留性・分解性 | : データなし            |
| 生体蓄積性   | : データなし            |
| 土壌中の移動性 | : データなし            |

---

## 13. 廃棄上の注意

|          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| 残余廃棄物    | : 生態系に影響を及ぼさないように処分する。          |
| 汚染容器及び包装 | : 外部への委託処理する場合は、産業廃棄物認定業者を指定する。 |

---

## 14. 輸送上の注意

|            |        |
|------------|--------|
| 国連分類       | : 該当なし |
| 国連番号       | : 該当なし |
| 国連輸送名      | : 該当なし |
| 容器等級       | : 該当なし |
| 海洋汚染物質     | : 該当なし |
| 日本国内での規制情報 | : 該当なし |

---

## 15. 適用法令

: 該当なし

---

16. その他の情報  
記載の取扱い

: 全ての情報や文献を調査したわけでないため情報もれがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意願います。  
製品の譲渡時にはSDSを添付して下さい。

SDSに関するお問い合わせ

: 営業部営業課

合わせ先 Tel: 0144-55-3788

Fax: 0144-55-1193